

羽田空港の昼間時間帯の発着枠（増加分）の配分について（国際線）

1. 発着枠の国別配分数

訪日外国人旅行者の受入拡大や我が国の国際競争力の強化を図る観点から、下記のとおり配分。

国名	配分数（1日当たり）	
	本邦企業	相手国企業
米国	12便分	12便分
中国 ※1	4便分	4便分
※2 <u>ロシア</u>	2便分	2便分
<u>豪州</u>	2便分	2便分
<u>インド</u> ※3	1便分	1便分
<u>イタリア</u>	1便分	1便分
<u>トルコ</u>	1便分	1便分
<u>フィンランド</u>	1便分	1便分
<u>スカンジナビア</u> ※4	1便分	1便分
合計	25便分	25便分

※1 中国とは、羽田発着枠配分のほか、成田・北京・上海に係る輸送力制限を大幅に緩和することを確認。

※2 下線は今般の増枠による羽田空港 昼間時間帯 新規就航国。

※3 インドは、これに加え深夜早朝枠1便分ずつを両国企業にそれぞれ配分。

※4 デンマーク、スウェーデン、ノルウェーの3ヶ国で1便分を配分。

2. 本邦航空会社への配分の企業別配分数

提携関係にある現地航空会社とのコードシェア等を通じて、多様な地域から訪日外国人旅行者の誘客を図る等の観点から、下記のとおり配分。

国名	配分数（1日当たり）	
	全日本空輸	日本航空
米国	6便分	6便分
中国	2便分	2便分
<u>ロシア</u>	1便分	1便分
<u>豪州</u>	1便分	1便分
<u>インド</u>	0.5便分 ※1	0.5便分 ※1
<u>イタリア</u>	1便分	—
<u>トルコ</u>	1便分	—
<u>フィンランド</u>	—	1便分
<u>スカンジナビア</u>	1便分	—
合計	13.5便分	11.5便分

※1 深夜早朝枠と組み合わせて1便を運航。